



## 七尾市少年科学館 館長 川端義信さん

### ● 目次

- 2 ひと人ひと
- 3 特集 平和への誓い  
～能登にあった、幻の飛行場～
- 8 「マクベス」始動!!  
～東京で稽古初め～
- 9 仲代達矢さんが語る「能登の魅力」  
～七尾青年会議所  
創立50周年記念講演会～
- 10 と～くあばうと／市長談話室／  
ななこちゃんのエコ生活
- 11 今月の市民相談／  
ケーブルテレビ番組紹介
- 12 情報ランド
- 20 まちの顔
- 22 伸ばせ！七尾っ子プロジェクト／  
児童館へ行こう
- 23 イベント情報
- 24 休日医療情報／不用品活用銀行
- 25 みんなの本棚
- 26 山下清展（七尾美術館）／  
わが家のアイドル

### 今月の表紙

第68回七尾港まつりの一大イベント「七尾港まつり総踊り」が、7月19日（日）行われた。お昼過ぎまで悪天候のため開催が危ぶまれていたが、夕方には青空も見え、たくさんの方の市民の皆さんが集まり、「七尾まだら」をスタートに踊り始めた。表紙の方たちのように、笑顔で踊っている人もいれば、周りの人の踊りを見ながら呼吸を合わせて踊っているもいた。

夏の風物詩ともいえる「七尾港まつり総踊り」。今後とも多くの市民に踊り続けてもらいたい。  
(※20ページに関連記事)



電子顕微鏡を使って昆虫の研究をする川端館長

# その数10万点以上 自然科学の“宝箱”

植物の標本、鳥類のはく製、化石の標本など、その数なんと10万点以上。さらには簡単な科学の実験ができる実験室まで備えた「七尾市少年科学館」で館長を務めるのは川端義信さん。事務所と展示室などは山王小学校の4階にある。

自然科学に関する資料や器材の収集、管理およびその利用と仕事の範囲は幅広い。そのほか豊富な知識を活かし、小中学校の科学研究の指導や助言などにも力を注ぐ。幼児や小学生、高校生に大学生、教職員から一般の方まで利用者は年間1万2,000人を超える。（平成20年

度、延べ人数）時には噂を聞きつけた県外からの熱心な学生も訪れるほどの充実ぶりである。

展示品の大部分は能登産のものであるが、身近な地域のことであっても知らないことは意外に多い。学校の授業を利用して少年科学館を利用する例もあり、教科書には載っていないこと、学校の先生からは聞けないこと、そんなことを川端館長は時間をかけてゆっくり話してくれる。

例年、夏休みに入ると自由研究のために訪れる親子もいるというが、「まだまだ少年科学館があることを知らない人も多いのでは。たくさん資料があるので、ぜひ遊びに来てください」と話す。

知っているようで知らない「へえ〜っ」が満載の少年科学館。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょう？

特集

～能登にあった、幻の飛行場～

# 「平和への誓い」



海軍航空隊  
相馬飛行場跡

田鶴浜町長西平秀夫書

広大な平野の片隅にひっそりとたたずむ、ひとつの石碑  
そこには「海軍航空隊 相馬飛行場跡」の文字が刻まれている

昭和20年8月15日  
そこには紛れもなく飛行場があった

戦争のない平和な現代を半ば当然のようにして生きる私たち  
戦争を体験した者にしかわからない戦争の苦しさや悲惨さ  
私たちの多くはそれを知らない

太平洋戦争が終わり、もうすぐ64回目の終戦の日を迎える  
私たちは過去から何を学び、何を考え  
そして、これから何をしなければならぬのか

特集「平和への誓い」

平和の尊さと、命の大切さを考える